

大山の森だより

2023年秋号

自然保護憲章制定50周年に向けて

2015年に国連で採択されたSDGs(「持続可能な開発目標」)が注目されています。SDGsとは、簡単に言うと「人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、その活動を維持できること」を目標にした計画です。

1974年6月5日に日本で制定された「自然保護憲章」は、その先駆けとも言えます。この「自然保護憲章」制定のきっかけになったのが、1966年に奥大山、江府町鏡ヶ成で開催された第8回国立公園大会の自然保護憲章制定促進決議です。自然保護憲章には9か条があり、その根本とする精神は次の3つです。

「自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう」、「自然に学び、自然の調和をそこなわれないようにしよう」、「美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう」。

来年2024年は「自然保護憲章」制定50周年になります。



江府町鏡ヶ成の自然保護憲章碑

この度、制定50周年を前に、大山の美しい自然風景を語り合い、自然保護憲章の精神を振り返るイベントを企画しました。大山を愛する皆様のご参加をお待ちしております。

☆大山の自然保護の歴史や 風景の素晴らしさについて講師・来賓と共に大山愛を大いに語り合います。

基調講演: 亀山 章 氏(公益社団法人日本自然保護協会理事長)

講演: 矢田貝 繁明 氏(大山自然歴史館館長)

講演: 汐田 達哉 氏(米子工業高等専門学校5年) ※各講師への質問コーナーもあり

【お問い合わせ・お申し込み】

自然公園財団 鳥取支部 大山事業地

※詳しくは自然公園財団ホームページで

※当事業は公益財団法人公益推進協会「自然公園等保護基金」の助成事業です。

大山ライブカメラお披露目、大山クイズ(賞品あり)などあり。参加者に「国立公園誌の記事集」と「大山冒険手帳」をプレゼント。

7~9月自然ふれあい事業イベント報告

※9月9日の「西明院谷 自然観察とオルガニート演奏会」は悪天候により中止となりました。



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。

裏面にイベント情報を掲載しています。



国の特別天然記念物 **ダイセンキョロボク**



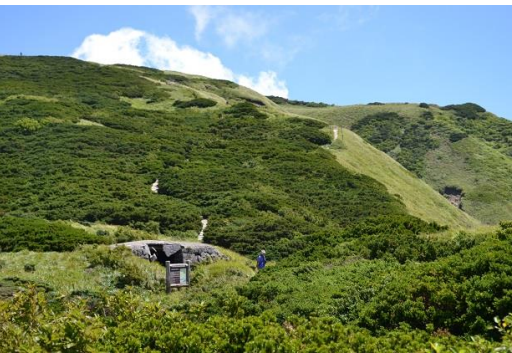
大山山頂へ登山をされた方にはおなじみのダイセンキョロボクは、国の特別天然記念物に指定されています。

多くの方がダイセンキョロボクを植物名だと思われているようですが、実は大山山頂付近のキョロボク群落を指す言葉です。

キョロボクは高木のイチイの変種で、裸子植物イチイ科の常緑針葉低木です。高さは50センチから2メートルと低く、幹は直立せず斜に立ち、根元から多くの枝が分かれて横に大きく広がります。日本海側の山地(山形県の鳥海山から兵庫県の氷ノ山、鳥取県の大山・道後山まで)に点々と自生しており、大山が南西限です。



大山の8合目(標高1600メートル)付近から頂上にかけての北西傾斜面には、約8ヘクタールに及ぶキョロボクの群落広がっています。これが日本最大のキョロボクの群落で、学術的にも貴重であることから、この群落が国の特別天然記念物に指定されています。ただし群落と言っても実生の本数は少なく、地面に下りた枝が根を張って横に広がってできたものと考えられます。



大山頂上付近のキョロボク群落

雌雄別株で、雌株には秋にやわらかくほんのり甘い赤い皮(仮種被)で包まれた実がたくさんつきます。ただし中の種子は猛毒です。

キョロボクという名前は香木のキョロの木に材が似ているから。ただしキョロの香りはしないようです。

キョロボクは日本海側の降雪量が多く、季節風の厳しい気候に適応した植物です。また鳥取県の県の木にも指定されています。

庭にキョロボクを植えると疫病を除くと言われ、古い庭園には数多く用いられていました。新芽が美しく、一年中、緑色であり、成長も緩やか、また、日向でも日陰でも成育し、丈夫で虫がつきにくい木です。庭園・盆栽にいかがですか？

コラム:イチイ

イチイはイチイ科の常緑針葉樹です。たくさんの別名を持つ樹木で、オンコ、アララギなどの別名がよく知られています。イチイという名前は、神官が使う笏(シャク)がイチイの材から作られたことから。伝説では仁徳天皇がこの樹に正一位を授けたので「イチイ」の名がついたそうです。それに由来したシャクノキという別名もあります。日本全国に分布し、主に山岳地帯の暗い森にまばらに生えています。樹高が15メートルにもなる常緑高木ですが、成長が遅く、幹の直径が30センチになるのに100年かかるとか。材は心材が赤く、辺材は白、緻密で美しいので彫刻などの工芸品に加工されます。



イチイー刀彫



キョロボクの赤い実は、ヤマガラなどのカラ類が食べに来ます。ヤマガラは甘い皮ではなく、猛毒の種を好んで食べます！



国の特別天然記念物

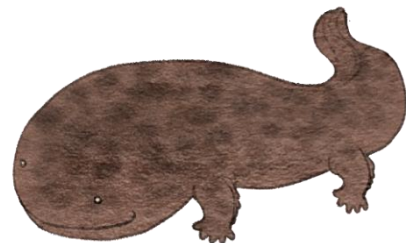
大山の オオサンショウウオ

国の特別天然記念物オオサンショウウオは、世界最大の両生類のひとつで日本固有種。生きた化石ともいわれ、3000万年前からほぼ姿が変わっていません。最大では体長が150センチ。岐阜県から西の溪流に生息しています。最大の生息地は中国地方で、大山の南、蒜山側は特に生息数が多く、大型の個体も多く見られます。大山の北側では日本海に流れ込む溪流に生息し、小型の個体が多く見つかります。大山の北側は、海に一番近い生息地だそうです。

夜行性で昼間は溪流の岩陰や横穴に姿を隠し、夜間に行動します。目の前に来たものは何でも食らいつき、魚やカエルだけでなく、ヘビやモグラも食べているそうです。寿命は50年以上あるとか。

大山を含む中国地方では昔からハンザキと呼んで親しまれてきました。ハンザキの由来は半分に裂いても生きている生命力からとも、半分に裂けたような大きな口からともいわれます。

山奥ではお祝い時に食べるごちそうであったと古老から聞いたことがあります。1952年に特別天然記念物に指定される前は、庭の池で飼っている家も多かったそうです。



ハンザキ=オオサンショウウオ

コラム1: サンショウウオの名前の由来

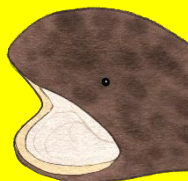
サンショウウオは両生類で魚類ではありません。なぜ名前にウオ=魚とついているかというと、昔は水中に棲んで泳ぐ生き物をウオに分類していたから。

ではなぜサンショウなのでしょう。サンショウの香りがするという説がありますが、サンショウウオにサンショウのような香りはありません。オオサンショウウオは強く刺激すると、独特の香りがする白い液を体のいぼから出しますが、サンショウの香りとは違うそうです。

平安時代はサンショウウオをハジカミイヲ=ハジカミウオと呼んでいました。当時のハジカミとはサンショウのことで、ハジケミ(弾け実)が変化したもの。口を開いた実はオオサンショウウオの頭にそっくりです。香りではなく形が由来かも。



👉 サンショウの実



コラム2: 大山の伝説「ハンザキ女房」

大山周辺や日野川上流ではオオサンショウウオの恩返し伝説があります。内容は下記の通り。


『山麓に住む一人暮らしの男が、池で傷ついたハンザキを助けたところ、旅の娘が男の家にやってきて、男の嫁になった。男と娘は仲良く暮らしていたが、村の庄屋の妻が病気になり、男が嫁に相談すると、ハンザキの生血で治るといふ。嫁の言うとおりに、池でハンザキを捕まえ、半分に切って絞った血を飲ませると、庄屋の妻は全快した。しかし男が家に戻ると嫁の姿は見えなくなっていた。しばらく後、男は池で半分になって生きているハンザキを見かけ、それが男の嫁だったと悟った』

典型的な異類婚姻譚ですが、ハンザキの恩返しは鳥取県だけらしいです。

ーイベント情報（10月～1月）ー



■自然公園財団のイベント

<p>○大山寺 阿弥陀堂周辺の知られざる遺跡を探る 開催日：10月21日(土) 9:00～12:00頃 会場：阿弥陀堂周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円 ※健脚向き</p>	<p>木々が色づき始める大山のブナの森。阿弥陀堂の背後の森には夏山登山道につながる道の跡があります。その合流点から望むのは常行谷奥にある謎の平坦地。そこに何があったのか。初秋の大山で謎の遺跡を探索します。 定員：10名 歴史探訪</p>
<p>○奥大山古道ウォーク(共催事業) 開催日：11月12日(日) 8:30～15:30頃 会場：江府町鍵掛峠・御机・下蚊屋 集合場所：エバーランド奥大山前 参加費：3000円 ※詳しくは江府町のホームページをご覧ください。</p>	<p>鍵掛峠から紅葉の奥大山古道を歩き、伝統の下蚊屋荒神神楽を堪能します。 ●お問い合わせ先：9月末ごろ募集開始 奥大山古道保存協議会事務局(0859-75-6007) 定員：80名 ウォーキング</p>
<p>○大山寺 利生水周辺の謎の遺跡を探る 開催日：11月19日(日) 9:00～12:00頃 会場：阿弥陀堂・利生水周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円 ※健脚向き</p>	<p>行基菩薩の伝説が残る利生水の上には寺院跡があることは知られていましたが、最近、複数の寺院跡が発見されました。それは御旅所跡と伝わる高台の平坦地へとつながっています。知られざる寺院跡を巡るツアーです。 定員：10名 歴史探訪</p>
<p>○スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝) 開催日：1月13日(土) 9:00～12:00頃 会場：豪円山周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円 ※スノーシューレンタル料別途1000円 駐車料金が別途かかります</p>	<p> かつて呼瀧山と呼ばれた豪円山。その幻の滝を見に行きます。垂直の岩壁に張り付く氷が神秘的な美しさ。大山の隠れた名所です。スノーシュー歩行距離約2キロ。 定員15名 自然観察</p>

大山隠岐国立公園 豪円山野営場が **リニューアルオープン**

大山キャンプフィールド GOEN

2020年度から再整備が行われていた「豪円山キャンプ場」が7月1日にリニューアルオープンしました。

フリーサイトとノーマルサイト(52区画)に、オートサイト(13区画)が追加され、より利用しやすいキャンプ場に。2023年度は11月上旬まで営業予定。

お問い合わせ・予約は、**大山ビューハイツ**(0859-52-2518)



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
 大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

